



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
5月号

平成から令和へ。新しい時代が幕を開けた。そして時代の節目にけじめをつけるかのように、3月22日、世界のスーパースターが現役を引退した。イチロー選手である。
日米で28年間。私たちは数々の感動や勇気、元氣、夢をもらった。そして、90分に及んだ記者会見の彼の言葉は、野球の枠を越え、時代の壁を越え、人がどう生きるべきかを教えてくれる貴重なメッセージとなった。



こんな言葉があった。
「4千本のヒットを打つには、8千回以上の悔しい思いをしてきた」

1つ1つの失敗に向き合いながら、理想的な打撃フォームを試行錯誤するイチロー選手の姿が見えてくる。その営みを重ねたことで世界の大記録が誕生した。失敗とどう向き合うか。悔しい思いをどう転じていくのか。人が強くなるための根幹を教えてください。もう1つはこんな言葉だ。

「自分のためにプレーすることがチームのためになるし、見てくれる人も喜んでくれると思う。しかし、ニューヨークに行ったところから、人に喜んでもらえることが、自分にとって一番うれしいと思うようになった」

オリックス、シアトル、ニューヨーク、マイアミ。複数の球団を経験しながら成長していくイチロー選手の姿が見えてくる。自分にとって本当の喜びとは何か。簡単ではないこの問いに、答えを出してくれているように思う。

さて今年の生徒会テーマが、「ゆめ葵・立ち上がれ自分!」ワクワク・ドキドキ・キラキラ」となった。

夢をもつにはどうすればいいのか。夢をかなえるために何が必要か。そのために自ら立ち上がることを命じたこのテーマに、私は新時代「令和」に挑む若者の熱い思いと並々ならぬ決意を感じる思いがした。

イチロー選手は、ワクワクする夢をみつけ、ドキドキする体験を重ね、キラキラと輝く存在になった。そして、失敗から学ぶことが大切で、人に喜んでもらうことが自らの喜びという答えを出した。

時代は変わっても受け継いでいきたいものがある。未来を生きる葵中生は、どんな答えを出すのだろうか。何を決意し、何に立ち上がるのか。

岡崎市総合体育大会



祝！入賞

○バスケットボール男子	優勝
○テニス男子	二位
○剣道 男子	二位
○剣道 女子	二位
○野球	三位
○ソフトボール	三位
○バスケットボール女子	三位
○ハンドボール	三位
○柔道	三位
○柔道個人 軽量級	三位

次へつなげる走り

陸上部男子

二年生から始めた四〇〇mで絶対に県大会に出場したい。そんな気持ちで臨んだ総体では、自己ベストの記録を出して終わ

りました。しかし最後の100m、あと一步のところでライバルに抜かされ賞状を逃してしまい、自分の実力不足を痛感しました。残り少ない練習しかないけれど、細かい動きを意識して練習に取り組みます。陸上部で一点でも多く取れるよう、精いっぱい走ります。

自分に厳しく

陸上部女子

一分一秒を大切に練習してきました。しかし、私たちはまだまだ練習がやり込めていないと感じました。私が出場した走り高跳びでは、昨年同じくらいの力だった子にも負けてしまいました。一生懸命やっていたつもりでも、それはつもりで終わっていたことに気づきました。今後は、一人でも多くの県大会出場を目指し、練習を怠らず、仲間と励まし合い、自ら行動できる選手を目指します。

勝って兜の緒を締めよ

バスケットボール部男子

総体の決勝戦、相手は矢作北中学校でした。「勝つのは当たり前、内容をよく。」という先生の言葉を胸に試合に挑みました。第一クォーターから葵中がリードを奪い、リードを保ったまま試合を終え優勝することができました。先生の言う通り「内容の



よい」試合ができました。総体で優勝したということは市長杯も期待がかかります。気持ちを引き締め、これからの練習に励んでいきたいです。

悔しかった総体

バスケットボール部女子



初戦はみんなの動きがかたく、苦戦しましたが、二回戦は、前半にリードを奪い、メンバー全員が試合に出場することができました。

準決勝の竜海戦。前半は、葵に流れが来ていましたが、後半は竜海の勢いに押され、うまくボールが回せず、結果は逆転負け。落ち着いてプレーすることができず、悔しかったです。この悔しさをばねに、残り少ない練習時間を大切にし、市長杯では悔いの残らないように頑張ります。

苦手を克服

ソフトテニス部男子

勝は苦手意識のある学校との対戦でした。緊張から連続でミスをしてしまいましたが、ペアと声をかけ合い、



気持ちを切り換えて、粘り勝つことができました。他のペアの頑張りや仲間の応援もあり、初めて決勝に進むことができてとてもうれしかったです。優勝は逃したけど、次の大会に向けての大きな自信になりました。

みんなの心が一つに

ソフトテニス部女子

強豪校との対戦。試合直前、選手全員が緊張していました。でもそこには、明るく声を掛ける仲間がいました。試合中、どのチームよりも大きな声援を送る仲間がいました。私は、「みんなの心が一つになっている」と感じました。

私たちは三〇〇で勝利しました。チーム全員で勝ち取った勝利でした。これからも仲間の存在に感謝しながら、チーム全体で強くなっていきたいです。

悔しかった準優勝

剣道部男子

僕たちの目標は優勝でした。しかし、あと一步というところで、その優勝を逃してしまいました。

僕自身、決勝戦で一本を取りに攻めているときに、相手に取られてしまい、とても悔しかったです。市長杯では、絶対に



優勝したい。そのために、足さばきの速さや技の精度を高めて、もっと相手に応じて動けるようにしたいです。目標は東海大会出場です。チーム一丸となつて残り少ない日数を頑張っていきたいです。

緊張したけれど

剣道部女子



相手の選手と戦う前、私はとても緊張しました。それでも絶対に一本を取られてはいけないと思いませんでした。それが私の中堅としての役割だからです。

「はじめ」の合図の瞬間、私は絶対に負けない決意を固めました。そして、いつもの十倍以上の声を出し、緊張を吹き飛ばしました。結果、その試合は一本勝ちで、私たちのチームは決勝戦に進むことができました。市長杯ではより良い結果になるように、残り少ない稽古に励んでいきたいです。

僕たちの判断

ハンドボール部

美川中学校には、ほかの選手よりもはるかにうまい選手がいます。前半はその選手が点を稼ぎ、二点差で負けていました。そこで僕たちの判断でマンツーマンディフェンスに変えました。

その結果、勝つことができませんでした。僕は勝利に満足していましたが、先生はあまり満足していませんでした。苦肉の策だったからです。これから市長杯に向けてチーム全体でディフェンスの強化に励んでいきたいです。



この試合から学んだこと

バレーボール部

私たちは、総体での悔しい思いから声を出すことの大切さを学びました。普段の練習では、いつも声を出すことを意識してやってきました。しかし、



相手チームに点数が入るたびに声が出なくなってしまう、相手の流れになつてしましました。

市長杯では、悔しい思いをしないよう、自分たちの力を出し切る試合をしたいです。今回学んだ「声を出す大切さ」を忘れず、これからの練習も頑張っていきたいです。

勝利するために

卓球部男子

「僕たちの目標は、優勝です。」

そう意気込んで挑んだ今回の大会は、その思いが違いました。第三試合、僕は一对一の状態です。第三ゲームを迎えました。「すごいプレーより、勝つプレーをしる。」と先生からアドバイスももらい、自分たちにできるプレーを心がけました。結果は三対一で勝つことができました。しかし、予選リーグで敗退という悔しい結果になってしまったので、市長杯では、粘り強いプレーで優勝を目指して頑張ります。

一球に込める思い

卓球部女子

私たちのチームは一度も賞状を取ることがありません。その悔しさを糧に頑張ったものの、ベスト4という目標に届くことができませんでした。あと一勝。少しの差だったことがとても悔しく、この一球に込める思いがまだ足りないと感じました。残り少ない部活動、目標を達成できるように練習から意識を高め、市長杯では、最後の一球にありつたけの思いを込められるように頑張りたいです。

夏に笑うために

サッカー部

サッカー部にとって、総体は夏への課題が多く見つかった大会になりました。サッカー部の目標は優勝でした。

しかし、試合では自分たちの練習してきたことを発揮するまで時間がかかってしまい、初戦で負けてしまいました。今回の負けをただの負けとして捉えるのではなく、市長杯に向けて改善し、最後はみんな笑顔で夏を終えたいです。

チーム力

野球部



今までは接戦に弱かったけれど、総体の甲山中学校戦では、全員が自分にできることを精いっぱい行い、チーム全員で手にした逆転勝利でした。準決勝での負けは本当に悔しいけれど、手応えのある大会でした。

夏の大会では、県大会に行けるように、引き締まった練習をして、さらにチーム力を高めていき、この仲間と一試合でも多く野球をしたいです。

逆転劇

ソフトボール部

対竜海戦では、激闘の末、葵中学校が十一対十で勝利しました。しかし、初回に四点取られてしまい、その後もなかなか点が取れず、苦しい試合になりました。

しかし後半、みんなの緊張もほぐれ、守備もバッテリーも練習と同じよう

にできるようになりました。ひやっとするとところもあったけれど、この試合を楽しむことができ、それぞれの新たな課題も見つけることもできました。市長杯に向けて、頑張りたいです。

先輩へのあこがれ

一年八組

応援リーダーに立候補したものの、大変そうだと不安に思っていました。しかし、優しい先輩方に指導してもらい、楽しいという気持ちに変わっていききました。総体では、声が枯れるほどの応援をして、リーダーとしてのやりがいを感じることができました。これから、先輩方のような人を目標とし、葵中生としての日々を頑張っていきたいと思えます。

生徒会テーマ



ゆめ葵
立ち上がれ自分!
ワクワク・ドキドキ・キラキラ

生徒会テーマにかける思い

三年一組

僕たち生徒会では、葵中生一人一人が夢をもち、その夢に向かって行動してほしいという思いから、このテーマをつくりました。そして、学校生活の

中で、「ワクワク」「ドキドキ」「キラキラ」といった瞬間を大切にして、楽しい葵中学校を生徒の手で作りに上げていきたいです。そのために、僕は全校の模範となるような挨拶を心掛け、行事では率先して全校を盛り上げていくことに全力を尽くします。

葵中

三つのつなぐプロジェクト

始まる

本年度も四月二十五日のひまわりプロジェクト(資源回収)を皮切りに、三つのつなぐプロジェクトが始まりました。



五月十四日には、葵プロジェクトとして、校長先生が京都の上賀茂神社へ本校で育てている二葉葵を奉納してきました。
五月二十三日には、三年生が伊賀川プロジェクトとして、伊賀川堤防の草刈りを行いました。
本年度も生徒会を中心に全校生徒で頑張っていけます。

表彰の記録



新緑杯
バレーボール部

優勝

中日少年野球大会

野球部

市民総合ハンドボール大会

ハンドボール部

市民剣道大会

中学一・二年生男子の部

優勝

優勝

優勝

二位

三位

中学一・二年生女子の部

六月の予定



- 二日(日) 水泳総体(本校会場)
- 五日(水) 一年生海の学習(〜四日)
- 一〇日(月) 一年学年休業日
- 一〇日(月) 生徒集会
- 一〇日(月) あおいMAX
- 一〇日(月) 生活アンケート
- 一三日(木) ひまわりプロジェクト
- 一四日(金) 教育相談週間(〜二日) 生徒議会
- 一四日(金) 期末テスト範囲発表
- 一七日(月) 三年生修学旅行
- 一八日(火) 日光・東京方面(〜一九日) 二年生職場体験学習 (〜二〇日)
- 一九日(水) 部活動休止(〜二八日)
- 二〇日(木) 三年学年休業日
- 二四日(月) 全校集会
- 二六日(水) 期末テスト一日目
- 二七日(木) 期末テスト二日目
- 二八日(金) 期末テスト三日目
- 葵夏祭り準備(五・六限)

葵が丘



春に向かって

進路指導主事 鈴木 貴章

「高校は目標になっても目的になってはいけない」

葵に赴任した年に耳にしたこの言葉。進路指導主事という立場の今だからこそ、自分の心に落ちてくる。

多くの子がしきりに言う。「A高校へ行きたい」「B高校に入りたい」と。だが、「そこでどんな三年間を過ごしていきたいのか」と聞くと、熱く語れる子は少ない。大切なのはその高校で何を学び、どのような三年間を過ごしていくのかであると私は思う。

この春、二〇〇名の卒業生を出した葵中。三年の担任として、また進路の担当として、生徒たちに志望校でどんなことがしたいのかを聞いた。面接をするたびに、返ってくる言葉が増えた。きつと家庭でたくさん話し合ったのだろう。将来をよく考えてきたのだろう。話をするそのまなざしに、なんとか力になりたいという気持ちが高まった。その姿から、決まった進路先で、頑張っていてくれると確信した。
一年後、二三四名が期待に胸を弾ませるものになるよう、三年職員一同、支援をしていきたい。